

# 向こう3か月の天候の見通し

## 北海道地方 6月～8月

### 予報のポイント

- 暖かい空気に覆われやすいため、向こう3か月の平均気温は高いでしょう。
- 向こう3か月の降水量は、ほぼ平年並の見込みです。

### 暖候期予報の見直しについて

暖候期予報として発表していたこの夏（6～8月）の予報については、今回の3か月予報等最新の予報をご利用ください。

### 3か月の平均気温・降水量

		平均気温（3か月）	降水量（3か月）
北海道	日本海側	低 20 並 30 高 50% 高い見込み	少 30 並 30 多 40% ほぼ平年並の見込み
	オホーツク海側		少 30 並 30 多 40% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少 30 並 30 多 40% ほぼ平年並の見込み
<p>数値は予想される出現確率です</p>		平均気温（3か月）	降水量（3か月）

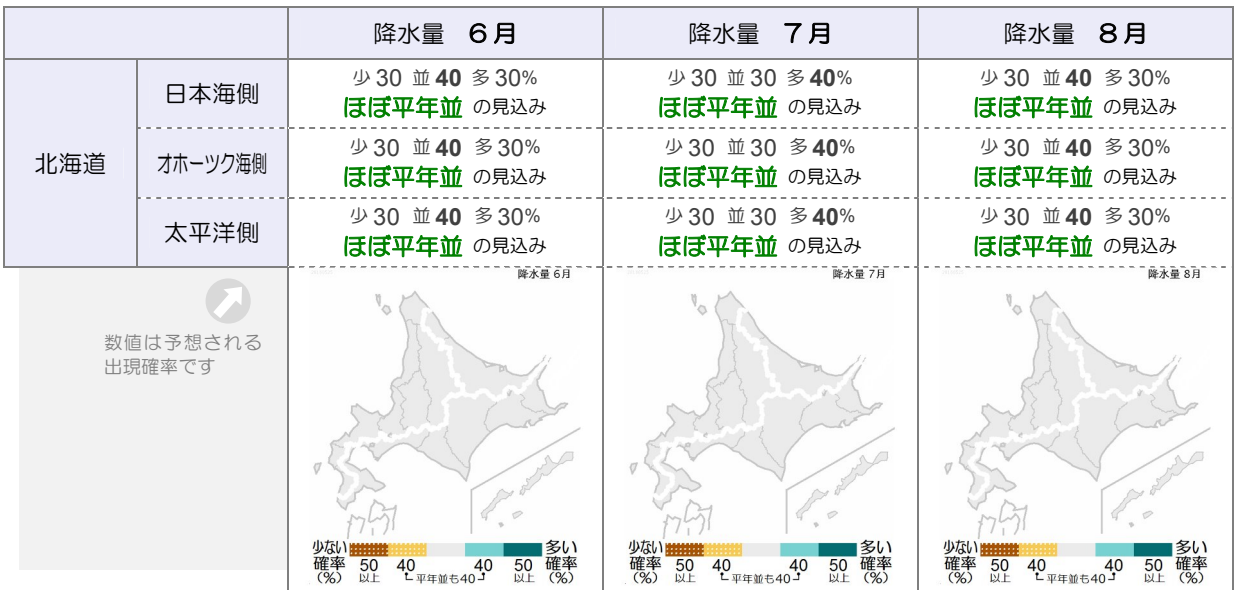
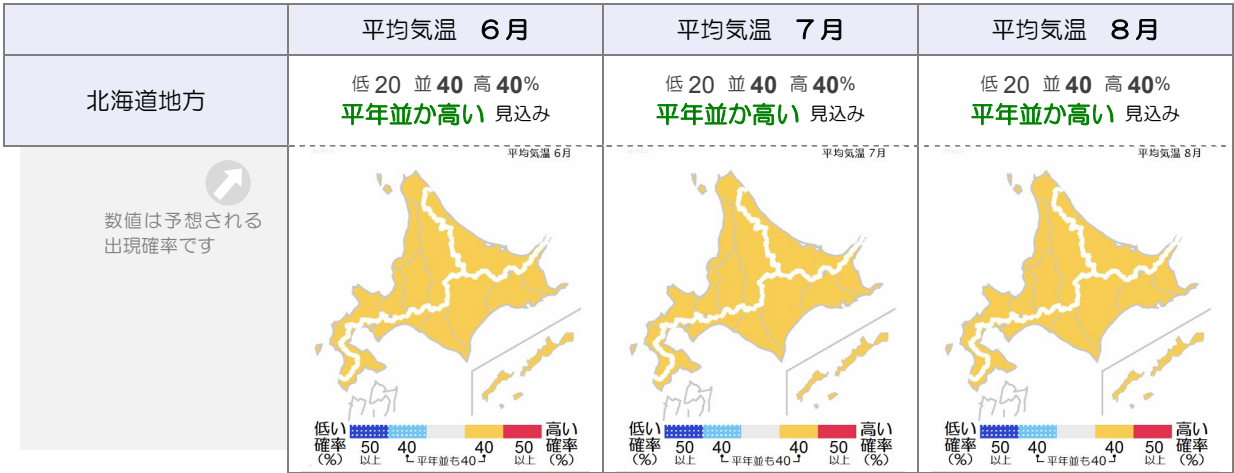
### 月別の天候

6月	7月	8月
<p>高気圧と低気圧が交互に通る見込みです。</p> <p>平年と同様に天気は数日の周期で変わるでしょう。</p>	<p>高気圧と低気圧が交互に通る見込みです。</p> <p>日本海側・オホーツク海側では、天気は数日の周期で変わるでしょう。太平洋側では、平年と同様に曇りの日が多い見込みです。</p>	<p>高気圧に覆われる日や気圧の谷の影響を受ける日がある見込みです。</p> <p>平年と同様に天気は数日の周期で変わるでしょう。</p>

季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、末尾の「参考データ（平年並の範囲）」をご覧ください。

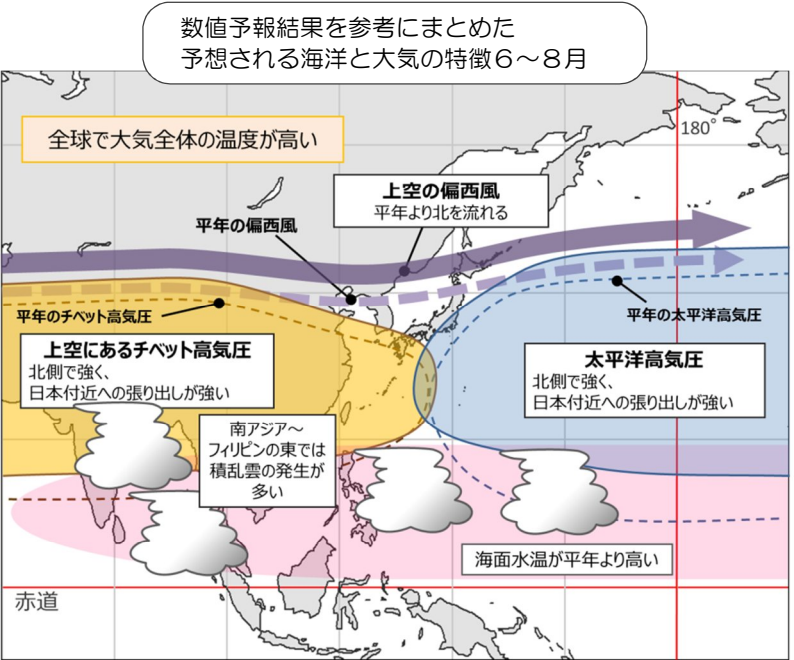
確率をその大きさに応じ言葉で解説しています。詳しくは末尾の「参考データ（確率予報の解説）」をご覧ください。

月別の平均気温・降水量



予想される海洋と大気の特徴

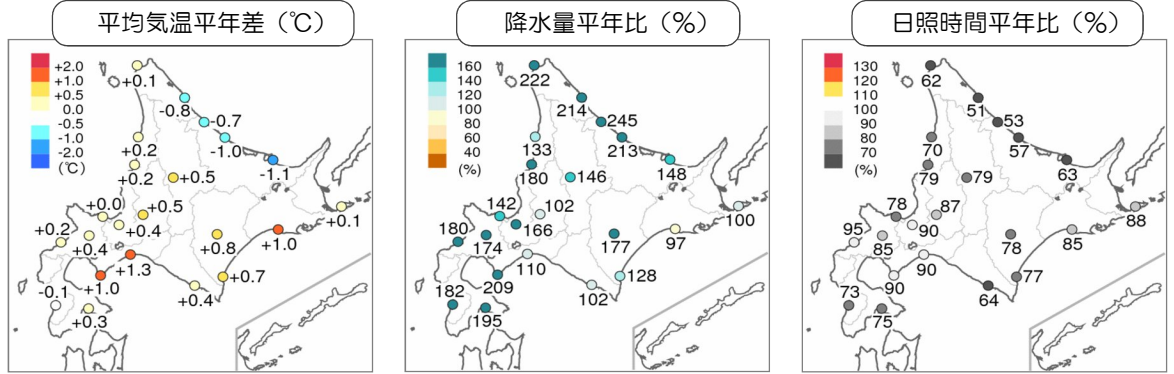
- 全球で大気全体の温度が高いでしょう。
- 熱帯の海面水温は、インド洋～太平洋の北半球側で広く高い見込みです。
- このため熱帯域では赤道付近より北半球の亜熱帯側に偏って積乱雲の発生が多く、上空の偏西風は平年に比べ北寄りを流れるでしょう。また、フィリピンの東でも、積乱雲の発生が多い見込みです。
- これらに伴って、チベット高気圧・太平洋高気圧とともに、日本付近への張り出しが強いです。



今月の天候経過（実況） 5/1~20

（上旬）低気圧や気圧の谷の影響により雨が降った日が多くなりましたが、高気圧の張り出しの中となつて晴れた日もありました（日降水量は3日に白老町森野で92.0mmなど）。

（中旬）天気は短い周期で変わりました。13日と18~19日は低気圧や気圧の谷の影響により広い範囲で雨が降り、18~19日は上空に4月中旬並みの寒気が入り雪の降った所もありました（日降水量は18日に福島町千軒で85.5mmなど）。



（実況）5/1~20	平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比
北海道地方	+0.2℃	162%	76%
北海道日本海側	+0.2℃	163%	80%
北海道オホーツク海側	-0.9℃	205%	56%
北海道太平洋側	+0.7℃	140%	81%

参考データ

● 平年並の範囲

	平均気温 3か月	平均気温 6月	平均気温 7月	平均気温 8月
北海道地方	平年差：-0.4~+0.4℃	平年差：-0.7~+0.4℃	平年差：-0.2~+0.8℃	平年差：-0.9~+0.9℃
北海道日本海側	平年差：-0.4~+0.4℃	平年差：-0.6~+0.5℃	平年差：-0.2~+0.7℃	平年差：-1.0~+0.8℃
北海道オホーツク海側	平年差：-0.6~+0.5℃	平年差：-0.7~+0.7℃	平年差：-0.5~+1.2℃	平年差：-1.0~+0.8℃
北海道太平洋側	平年差：-0.4~+0.4℃	平年差：-0.7~+0.6℃	平年差：0.0~+0.5℃	平年差：-0.8~+1.0℃
札幌	19.5~20.2℃	15.9~17.2℃	20.4~21.0℃	21.2~23.0℃
網走	16.0~17.2℃	12.4~13.7℃	16.6~18.1℃	18.6~20.3℃
釧路	14.7~15.5℃	11.1~12.3℃	15.3~15.9℃	17.3~18.7℃

	降水量 3か月	降水量 6月	降水量 7月	降水量 8月
北海道地方	平年比：90~107%	平年比：85~108%	平年比：73~110%	平年比：77~109%
北海道日本海側	平年比：85~108%	平年比：84~115%	平年比：70~117%	平年比：80~104%
北海道オホーツク海側	平年比：81~113%	平年比：79~114%	平年比：67~128%	平年比：72~114%
北海道太平洋側	平年比：87~107%	平年比：72~112%	平年比：78~115%	平年比：72~113%
札幌	201.6~278.2mm	36.3~55.2mm	45.1~93.5mm	87.1~131.2mm
網走	215.6~279.5mm	42.1~61.5mm	62.6~98.7mm	74.8~115.7mm
釧路	321.1~387.5mm	70.1~127.0mm	108.3~150.0mm	91.6~173.7mm

「平年並」の範囲は、同時期の過去30年間（1981-2010年）の値から統計的に求めています。30年間のデータの中で「高い（多い）」「平年並」「低い（少ない）」となるデータの数が等分になるように「平年並」の範囲を決めています。すなわち、30年間の30個のデータのうち、値が高い（多い）方から11~20番目となる10個のデータの値の範囲を、おおよそ「平年並」の範囲としています。

● 晴れ日数と降水日数の平年値

	6月		7月		8月	
	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数
札幌	15.1日	6.5日	13.0日	8.0日	15.4日	8.5日
網走	13.6日	8.7日	13.2日	9.9日	15.0日	9.3日
釧路	10.2日	8.1日	8.1日	10.2日	10.9日	9.5日

「晴れ日数」は「日照時間が可照時間の40%以上」の日数であり、「降水日数」は「日降水量1mm以上」の日数です。この2つは同じ日に起こることがあるため、「晴れ日数」と「降水日数」の両方に数えられる日もあります。

● 確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率（低い（少ない）：平年並：高い（多い））	解説
高い（多い）確率が50%以上	高い（多い）見込み
（20：40：40）	平年並か高い（多い）見込み
平年並の確率が50%以上	平年並の見込み
（40：30：30）（30：40：30）（30：30：40）	ほぼ平年並の見込み
（40：40：20）	平年並か低い（少ない）見込み
低い（少ない）確率が50%以上	低い（少ない）見込み